

地域全体でなくそう！カメムシ被害！

基本の防除ポイント

1. 出穂前は、カメムシの密度を下げるため、水田周辺の草刈りを徹底する。
2. 出穂後は、水田に侵入してくるカメムシから守るため、適期に薬剤散布を行う。

時期 防除方法		7月			8月		
		上	中	下	上	中	下
イネの生育					出穂期	穂揃期	
畦畔・雑草地の草刈り		イネ出穂7日前までに草刈り			発生が多い場合は追加散布		
薬剤防除	残効性の高い薬剤 1回散布				1回散布		追加散布
	上記以外の薬剤 2回散布				1回目散布	2回目散布	追加散布

※ 直播栽培の場合は、穂揃10～14日後（8月第4半旬～第5半旬）頃に薬剤を散布する。

草刈り

- ・ 畦畔の草刈りは、**出穂7日前まで**に終わらしましょう。
- ・ やむを得ず、出穂後に草刈りを行う場合は、薬剤散布後に行いましょう。（残効性が高い薬剤は1週間以内、これ以外の薬剤は速やかに。）

薬剤防除

- ・ 以下のいずれかの方法で適期に薬剤防除を行いましょう。
- ・ 地域全体で作業を行い、防除効果を高めましょう。

① 1回散布とする方法 （残効性の高い薬剤を使用）

薬剤名	散布時期
キラップ	穂揃期～穂揃7日後
スタークル アルバリン	穂揃7～14日後
エクシード	穂揃7～10日後

② 2回散布とする方法（左以外の薬剤）

薬剤名	回数	散布時期
エルサン スミチオン	1回目	穂揃期
トレボン	2回目	穂揃7～10日後

（注）「青天の霹靂」「青森グリーンライス」などの生産に当たっては、栽培基準を確認し薬剤を使用しましょう。

- ・ 例年、斑点米被害が多い水田や、登熟後期にカメムシ類の発生が多い場合は、**最終散布の7～10日後**に追加防除を行いましょう。

～ 斑点米カメムシ類による被害とは ～

- 県内で被害をもたらしているのは、主にアカヒゲホソミドリカスミカメとアカスジカスミカメです。
- カメムシ類は、イネ科植物の種子を好むため、普段は畦畔や雑草地に生息し、イネが出穂すると水田に侵入します。
- 斑点米カメムシ類により加害された玄米は、「斑点米」(着色粒)となります。
- この斑点米が1,000粒中に2粒含まれると、「2等米」に落等してしまいます。



カメムシ類による被害粒

薬剤散布の際は、周辺への飛散に注意してください！

《 農薬使用基準の厳守 》

- ・薬剤散布は、風の弱い日や時間帯を選び、散布の方向に気をつけるなど、周辺の農作物などに飛散しないように気をつけましょう。
- ・特に住宅地周辺や養蜂が行われている地域では、飛散防止対策と併せて、周辺住民や養蜂関係者にあらかじめ散布計画を知らせるなど、積極的に情報交換しましょう。
- ・水田で使用した農薬が河川に流出しないよう、農薬使用后7日間は、落水やかけ流しを行わず、この間の入水は水尻を止めて行いましょう。
- ・農薬を使用する前には必ず最新の登録内容を確認し、適用作物や使用時期、希釈倍数、使用量、成分総使用回数などの使用基準を守って使用しましょう。

◎ 農林水産省【農薬情報】〔URL〕https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/

◎ 農林水産省【農薬登録情報提供システム】〔URL〕<https://pesticide.maff.go.jp>



農薬登録情報
提供システム

お問合せ先

○青森県農林水産部 農産園芸課 稲作・畑作振興グループ

TEL:017-734-9480 FAX:017-734-8141

○青森県病虫害防除所

TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900

○各地域県民局地域農林水産部（農業普及振興室）

東青 TEL:017-734-9990

中南 TEL:0172-33-4821 黒石分室 TEL:0172-52-4335

西北 TEL:0173-35-5719 つがる分室 TEL:0173-42-2222

上北 TEL:0176-23-4281 三沢分室 TEL:0176-53-2498

下北 TEL:0175-22-2685

三八 TEL:0178-27-4444 三戸分室 TEL:0179-23-3264